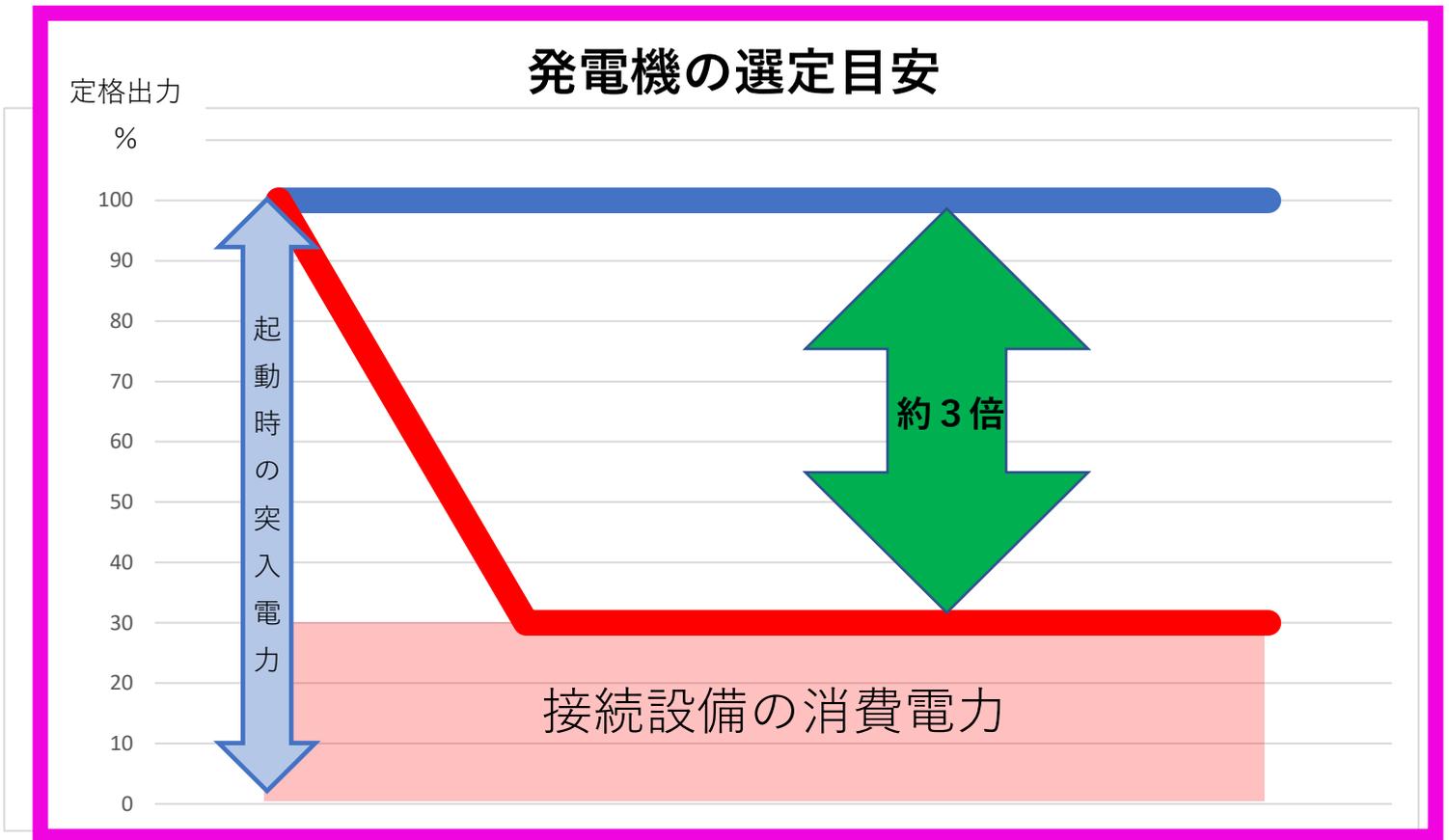


# 実負荷運転で点検要領の基準に到達するのか



図①のように防災用自家発電設備は、起動時に突入電力に耐え得るよう  
接続する設備の約3倍近い容量で、平成元年以降選定されています。

**発電機の容量が大きいです。**

その為、実負荷運転で接続されているすべての設備を動かしたとしても  
屋内消火栓やスプリンクラーから本当に水を出しているわけではありませんから  
送水という水を運ぶ負荷がかかっていない為、消費電力も既定よりも低い数値に  
なってしまいます。

エレベーターで、上りと下りで消費電力は同じでしょうか？違いますよね。

接続設備を完全に動かして約33%しか発電させることができません。

そこで送水などの負荷がかからず、消費電力が落ちることを考えると

実負荷で点検要領の基準を満たすには、かなり困難であると言い切れます。

## デンヨー エンジン発電機 算定目安 抜粋

### ⑤ 算定の目安

エンジン発電機の出力算定の目安は、次の通りです。

種類	抵抗負荷	ハロゲン負荷	整流子モータ	誘導電動機
例	白熱灯、電熱器等	蛍光灯、水銀灯等	ドリル、サンダ等	水中ポンプ、コンプレッサ等
始動時	1倍	2.1~2.8倍	2.0~3.0倍	3.0~5.0倍
定常時	1倍	1.2~1.8倍	1.3~1.6倍	1.3~2.0倍

## 設備容量 ヤンマー エンジン発電機 算定目安 抜粋

防災・非常用の自家発電設備を設置する場合、消防予第100、186号通知に基づいた容量計算書による発電機容量の算定が必要です。

(社)日本内燃力発電設備協会より「自家発電設備のソフトウェアNH1 Ver.3」があり、これを使用して設備容量を決定します。

## モータ容量による機種選定例 (ラジエター冷却式)

区分		モータ容量	2.2kW	3.7kW	5.5kW	7.5kW	11kW	15kW	18.5kW	22kW	30kW	37kW	45kW	55kW
50Hz	直入起動		AP25C	AP25C	AP25C	AP45C	AP45C	AP95C	AP115C	AP155D	AP230D	AP230D	AP300C	AP375D
	Y-△起動		AP25C	AP25C	AP25C	AP25C	AP35C	AP45C	AP95C	AP95C	AP155D	AP155D	AP230D	AP230D
60Hz	直入起動		AP25C	AP25C	AP25C	AP35C	AP45C	AP95C	AP95C	AP115C	AP230D	AP230D	AP280D	AP300C
	Y-△起動		AP25C	AP25C	AP25C	AP25C	AP35C	AP45C	AP45C	AP95C	AP115C	AP155D	AP230D	AP230D

※1.モータ容量は消防設備ポンプ(FL)1台として選定しています。 ※2.本表は目安であり、負荷による機種選定は都度ご照会、ご相談ください。